



令和二年睦月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

生徒数

1年	173名
2年	156名
3年	176名
特別支援学級	6名
全校生徒数	511名

カマエ・ツキ ～あなたらしく～

校長 玉崎 芳行

教室の窓から見えるあなたの顔が、私は好きだ。校長室の窓から見えるあなたの顔が、私は好きだ。校庭に広がるあなたの声も、体育館に響くあなたの声も、私は好きだ。

教室の窓から中をうかがう。難解な数式に対峙し、眉間にしわを寄せているあなたの顔つきが、あなたの深まる思考力を感じさせる。百人一首の読み上げに、誰よりも先に札を飛ばしているあなたの顔つきが、あなたの研がれる感性を感じさせる。通知表が手渡され、意気揚々と自席に戻るあなたの顔つきが、あなたの高まる自尊心を感じさせる。校長室の窓からは、あなたの和らかな心が伝わってくる。清掃活動終了後、集積所に一人ごみを出しに来たあなたは、無言でその周りに散見する他のごみを拾い集めた。正月二日、ランニングをしていたあなたは、朗らかな笑顔で新春のあいさつを交わし、弛まぬ決意を携え走り去っていった。校庭や体育館では、仲間を鼓舞する頼もしいあなたの声や己自身に喝を入れるあなたの声が聞える。私が、こんなにも心を揺さぶられるのは、あなたの、意を決した顔つきであったり、日ごろの心構えが現れていたりするからなのだろう。

『心構え。身構え。気構え。面構え。顔つき、目つき、手つき、声付き。』心のありさまを表す言葉がある。

例えば、人は、目標を定め、準備することで「構え」が形作られる。「構え」ができると、「顔つき」が変わり始める。そこには、“こうしよう。こうしたい。こうせねば。”という意志、意思が生まれる。意志、意思が生まれると、具体の行為に目がいき、行動に移る。行動が続くと、自然と「目つき」「手つき」が変わり始める。

21世紀の現代は、成長社会から成熟社会へ、ベクトルをシフトしたかのような物言いが巷間でなされているようだ。果たして、本当にそうであろうか。科学技術の進歩による利便性を手に入れることで、我々は、何か大切なものを見失ってはいないだろうか。これからの時代を担うあなたに、あえて問う。「自らの思考力、感性、好奇心、探求心、コミュニケーション能力」を錆びつかせたり、鈍らせたりしていないだろうか。

新しい年を迎えた。三年生諸君は義務教育修了となる。一・二年生諸君はそれぞれ進級する。あなたらしい目標を定め、あなたらしく心を構え、あなたらしい顔つきで、あなたにしか描けない一年を創りあげてほしい。